

拔 萃

◎工業的デモクラシーと職工長

(The Iron Age, April 1, 1920)

K O 生

近來吾人は屢々工業的デモクラシー(Industrial democracy)なる語を聞く元來工業的デモクラシーとは破壊の意なるが而かも科學的管理又は能率増進を標榜して起れるものなり。兎に角災厄なりされども又已むを得ざるものありて存す多くの雇主中には將來の故障をも顧みず徒に奢侈に流れ以て範を雇傭者に示すものあり依て余は斯くの如き危険思想の防止に勉めんとするに際し雇主側に於ても充分の注意あらんとを警告するものなり。

工業的デモクラシーは計畫、條件又は理論ならず唯同情及び好意的精神に對する自由の渴望なり、而して其組織に至りては箇々特殊の場合に於て適切なる活動をなすに過ぎず、凡て組織に關する種々なる計畫は理論上失敗に終れり。要するに雇主と雇傭者との双方に於て相容れざる所あるに基因す。畢竟社會に於ける關係に就て一方は優待せられ惡弊も因襲的に默許せらるゝに反し、他方のものは輕視せられ常に怨恨を抱ける情態なるに依るべし。

一、今日の工業情態

今日一般の工業情態に於ては之を箇々の場合に就て觀察する時は工業上不満足の點尠なからざれども其組織と設備とに於て之を社會的又は國家的より觀る時は生産率の増加莫大にして現今の情態は先づ最上なるものなるを充分證明せらるゝなり然れども經濟上の軋轢は譬へ最善の秩序ある工業團體なりとも時に又已むを得ざるものなりとして吾人は茲に存在せるデモクラシクに對へんとす。價格は最善の價值なりとは吾人の論證する所なり而して吾人は現在工業的デモクラシーに於ける遺憾なる諸點を猥りに指摘せず、そは其忍容せる本性を以て勞役に従事しつゝあればなり。

扱て今日の職工は何を要求せるか、又職工長は其前提として何を爲さるべからざるかと云ふに、職工は工業上に於てより以上の自由を要求せり又管理の對策として配當を望めり。されども彼等が利益配當に預らんは前途遼遠なりと云ふべし。彼等は又單に商品の一販賣主としてのみならず相當の關係者として待遇せられんことを要求せり。又彼等は單に報告決定又は命令を受納するのみに止らず事件を説明し又は會議に列せんことを希望し而かも之等は何れも不合理なるものならずとせり。

されども雇主並に爲政者としては、吾人は吾人の工場に於て吾人自身の物を以て吾人の好む儘に何事も經營せられざる筈なしと云へるも併し又其實現に就ては尙規定の存立

せるものなし、唯若し吾人が吾人の生産に對して聰明ならんには假令他の利益に對しても無益に個人の手を休止せしむるが如き行動に出でられざるべし。

二、一般的警告

今日米國人民間に現はれたる労働問題は國家工業をして共和政體に牴觸することなく政治的デモクラシーの觀念を以て工業上に適用せば之を組織的に管理統一せらるべしとなせども果して是を以て人民の自由と國家の進歩とが保證せらるべきや否や。

此の意味のデモクラシーに於て余は其不可能なるを信ずる者なり、是に於て余は爲政者、雇主、職工長並に職工に對して努力的に同情的に且つ眞面目なるべきを充分に要望するものなり現在の如く豐滿なる人員を抱容する團體に於ては職工より社長に至る迄夫々相關の理あるを以て可成的其の不満を除き健全なる協調を計るを期せざるべからず。

凡そ工業上主腦者の資格として最も尊重すべきものは職工に對して最上なるもの及び彼等を如何に管理すべきかを知ることなり。今日の職工は彼等の過誤を免るる權利を保留するに對し、又雇主にありても社會的組織に對して猥りに權利又は策略を以て暴威を逞ふするが如きことあれども共に警戒せざるべからず。

此際雇主並に雇傭者に於ては各自意見を公正に發表するとは大に歡迎せらるゝ所なり。

三、救濟策

七五〇

斯る思想に對する救濟策としては保守的なりと雖も教育に俟つを以て最も堅實なる者とす今日此の危急の秋に於て譬へ速成的なりとも之を爲さざるに優ること萬々なり。茲に於て當然起るべき問題は誰に何を教育すべきかにあり。教育すべきもの、範圍は職工長、職工、少年、公衆、雇主管理者、工業組合員等と順次擴大せらるべきなり論者云はん「汝の提起せる怪物は結局笑止なる鼠と化せるか」と、然り併し記憶せよ物語に於ける彼の笑止なる鼠は網中の獅子を助けしものなるを。然れども之は枝葉なり、吾人の憂ふる所は職工長の教育なり、吾人は職工長に適切なる教育を施し以て今日工業の調和と進歩とを計るを捷徑と信ず。

四、職工長の資格及其教育法

今日吾人の職工長に特に必要なる資格は十二項あり、彼等は各自の自覺適用上にも其等の性能を開發せざるべからず。其の資格中特に主要なるものは生産上の技術に對して第一熟練、第二智識等とす。若し彼等にして第一條件を満足なる程度に有せざれば職工長の資格なし、第二の條件に至りては細論するの要なし、殘餘の性能十項は次の如し。健康、精力、徹底、注意、熱心、判斷力、才能、統御心、公正、忠實等なり。吾人は職工長に對して之等の觀念を充分に啓發せしむること肝要なり。而して彼等は斯の如き教育を受くる時は進んで彼等の部下をも改善せしめんとする

念慮を惹起するに至るものなり。

某専門技師は此計畫の不可なるを論ぜり、されども之は誤解なりとす。汝の將來の名譽、汝の善き忠告及び汝の實際の活動は畢竟材料の供給者並に之が補助者たる職工長の手腕に横はれるに非ずや。而して又青年技師に至りては職工長に同情すること尠く、却て理事者の權威を借りて往々壓制なる行爲に出づることあり。抑も工業企圖の敗因には職工長の怠慢又は其卑劣なる陳述より誘導せらるゝこと屢なり、要するに職工長の努力如何は其運命を左右せしむるものと云ふも可なり。

五、眞理の討究

正しき理解を得んが爲めに吾人の職工長は決して當て推量をなすべからず必ず注意、徹底、熱心並に科學的判斷力を以て正確に其眞理のある所に因りて解決せざるべからず而して各自の經驗並に之に關する他人の行爲を參考して之を各自の腦中に包容し然る後正確なる判斷を下すべし。吾人は是等の心的狀態を職工長の眼前に明示することを肝要なりとす、而して之を奪魂的方法を以てせば彼等は無限の興味を起すに至るべし。

試に職工長に對してワットの蒸汽機關に關する說話又はニュートンの引力説等を講述する時は彼等は甚大の興味を喚起し從て之等の大人物の人格を崇拜し自ら眞理の討究に向て愛好する念慮を生ずるに至る、斯の如き方法を以てす

る時は好結果を得ざることを尠し。

六、職工長の權限

余の視察せし某工場に於て職工は其雇主に對して大なる不平を有せり、之は其職工長等の暴慢なること並に其理事者に於ても嚴格に過ぎ彼等に對する同情を缺き徒らに其地位の高さを以て傲慢なるが爲めなり。斯く双方に於て意志の疏通を缺くことは團體作業を相殺し悲慘の結果を齎すに至り益々其眞因より相隔離するに至るものなり。雇主は往々職工長の爲めに職工より誤解を招くことあり、今日の團體作業に關しては管理者の意志を充分職工に理解せしめざるべからず、吾人は屢々貧弱なる生産品を出すことあれども之等は多く此點に注意の缺くる所あるが爲めなり。

又余の知れる某工場に於ては低脳兒の一職工を使役せり管理者は此者に對して一般利益のある所を指摘して報告又は命令を傳達せしめたり、而して彼が充分理解せしを認めたる時管理者は其成品の成績良好なるを知りたりき。余は嘗て某職工長に警告せられしことありそは職工に對しては抽象的觀念を要せず具體的觀念を以て自然に作業を遂行せしむるに如かずと。又某老練なる職工長が職工に訓示せる所を聞くに「努力せよ、されどもコンクリートに用ゐしセメント、砂及び砂利の分量を決して云ふこと勿れ」と。

七、職工の人格改造

今日は如何なる工業に於ても大なる成功を收めんとせば

職工長と管理者の團體的關係が相投合せられざるべからず
從て團體作業は眞の協力に待たざるべからず。是に於て吾
人は職工の人格改造に關して大なる機關の組成を望むもの
なり、結局職工長を通じて之が完成を期するのみ、余は學生た
るを好まず」等云へるものあるは余の屢々知る所なるも元
來青年は夜學を愛好するを以て夜學教育に依りて之を達成
せしめんとすされども或者は疲勞者として斯る席上に列せ
ざるべし斯の如き者に至りては作業時中と雖も夫に對して
殆ど努力的態度に出づるとなし彼等は「諸君、精巧に且つ
多量に作業せよ」と云ふ吾人の格言を充分服膺せば自ら其
の疲勞をも忍耐し却て其業務に新生命を與へ馳て之が今日
吾人の職工並に職工長の要求せる諸點に一致すべし。

一週日に於て三、四時間を割きて此問題の爲に費し以て
工業に關する智識道德の諸觀念を附與すべし現在工業の趨
勢、一般的生産法則、時代の流行、工業經濟等に關して明
瞭なる理解を與ふるとは徒に形式的の命令或は背景的救済
に優ること大なるものなり。

八、職工長訓練の實驗

余は既に米國二十五州に亘りて二萬人の職工長を此目的
の爲に訓練せり内五千人はスイフト會社に屬せり便宜上終
始彼等に同一の問題並に材料を與へて訓練し又同一の質問
を發せり、各専門的訓練に至りては之を自然に任せたり、
併し教育機關の根底と工業指導方針とは決して混同せず。

是に於て注目に値すべきは各職工長の熱心に學修せしこと
なり、從て彼等は有益なる修得をなし彼等自身の工場に歸
りては從來に比し著しき成績を上ぐるに至れり。

之等の訓練せる者の年齢は二十歳より六十五歳迄にして
所謂老朽せるものあるを認めざりき。此中には事務所又は
工場より婦人監督も多數來りて會員となれり、彼等も亦甚
だ熱心なりき。各會社の管理者は主として其輔導の任に當
り時としては社長、重役等が親しく講演をなし或は一般の
質問に答ふることせり。

九、訓練せる職工長の價值

吾人の豫期せる如く善く訓練せられたる職工長が到る處
相連絡團結し以て生産者と協力せば吾人は工業上勞働紛擾
問題の惹起せざるべしとなす、而して工業技師は充分の手
腕を振ひ得て工業生産品の改造期して待つべきのみ。抑も
公憤なるものは模範的米國人の態度なり、去れども不健全
なる不平の種類即ち虚偽、無智、猜疑、瞞着等に起因する
ものは吾人は努めて之を排斥せざるべからず。若し夫れ日
日の作業に於て其面目を一新し經濟的實績の現はるゝに至
ては其待遇に關しても亦向上するや論なし。

此問題の終りに於て吾人は希望を有せざる職工長に對し
て一言云はんとす、某ドクトルの好酒家に對して云へるこ
とあり「ウイスキーを止めよ然らざれば寧ろ盲目にて行く
べし」と、好酒家答へて曰はく「善哉、余の欲する凡ての

ものは全く余の見たるが爲めなり」と之と同理にて希望なき不忠實なる職工長はインフルエンザの病人の如く何等益する所無きものなり。

吾人は一九二〇年に於ける職工長の職責は即ち職工に對する雇教師なりと稱すべし、其地位並に其職名は決して從來の夫と同一様ならざるべきを信ず。

十、訓 練 法

二年前余は政府の任命に依りて職工長訓練計畫の爲め其實驗に着手せり、此目的の爲めに前述の如く各工場に於て管理者並に一般従業員を一團となし人生工学の要旨に關して共々研究するの必要を認めたり。職工長訓練法として其題目の選定は専門的技術に亘るものは可成之を簡單にせり。目下紐育市並に市俄古に於ける實業教育會にありては主として海員に此法を施行せるが成績甚だ見るべきものあり。又彼等の個性啓發に對しては之を壓迫するより寧ろ誘導の方法が適切なるものと認む。既に多數の工場に於て職工長、職工並に其他従事員の多くが會員名簿に登録せられ而して多數の卒業者をだせり。故に近來は職工長にして此計畫に於ける三ヶ月の學校に學修するを怪しむものなきに至る。三ヶ月の日數は此目的の爲めに最も適當なるものとせり。

十一、工場修學團

各工場に於ては便宜上彼等に適應せる機關として工場修

學團を組織せり、之は管理者より指揮せられたるものならずして全く彼等自身の要求に基くものなり。科目は普通六科となし各二週間にして完結する組織とせり。各科學修の終りに當りて彼等は工場に於ける管理又は技術に關する實際的問題を研究せり。之等の問題は其管理者の意見を參酌して適確なる解答を與へ同時に之を個人教育上にも裨益せんことを圖れり。

職工長には現在彼等の境遇より見て更に一步を進め専門的資格を附與せん計畫を以て次の三項を訓練せり第一人として、第二生産機關の一部員として、第三職工の指導者として等なり。第一項は職工長の人格を基礎として訓練せられ第二項に於ては工業史、現今工業の發達策並に經濟等に就て學修し、最後に於て彼等は多くの例證の下に會社組織並に團體作業に就て學修せり。

彼等は最近の工場法に關して設備、作業、材料並に其取扱法を學修せり又材料の購買、貯藏、防腐法、製作法及簿記等に至る迄一通りの理解を得るの學修をなす又價格の原理に關して課税並に管理等を學修せり、以上の説明は豊富なる壁表に依りて一々之を圖解せらる。

十二、職工の取扱に就て

課程の順序として彼等の管理下にある職工の特性並に其取扱に關して學修せり。職工に關する記録並に給料法、訓練の持續及び各自の努力獎勵等極めて興味あり且つ同情的

取扱法の肝要なるを學修せらる。又職工の健康福利安寧を圖ること彼等の義務を充分に遂行せしむること等には特に重きを置きて研究せり、而して之等の説明に要する例證は實際の經驗より引證せられ地方の狀況に適應するものにして職工長に取りて最も實際的のものとす。スイフト會社にて會合せる五〇〇名の職工長は一組十五名より二十名の小組に區分せられ各組より組長を選擧せしめて學修に便せり。各組は二週間に一度會合して種々なる疑問の解決をなせり當時工業に關する經濟其他の事項及び社會問題等に就て一五〇〇以上の質問を發せられたるが之等は委細公開的に解答せられたり。之等の疑問は常に職工長の心底に覆在せる所のものにして若し斯る機會なからんには彼等は永く之を疑問の形として保留し半信半疑の結果は時に不幸なる犯罪を構成し工業發達上に忌はしき原因をなすに至るべし多くの工場に於ては此計畫を以て非常に興味あり且つ有益なるものとなし從て之を以て永久的の組織となさんとの議論生ずるに至れり。

十三、團體的規約

此計畫に於て工業上社會問題の疑はしき事項は充分解決せられ從て工業に關する危險思想は悉く除去せらる。感知し難くして之が發見に困難を覺ゆる事項も之等の職工長の鍵に因りて容易に發見せられたり而して彼等の訓練に關して多くの工場より提案せられたる多數管理上の問題ありき

之等に對しては團體的規約の意味を以て解答せられたり。工場の作業に關する商議委員には斯る啓發せられたる職工長を任命し以て職工の給料、作業時間並に雇傭者に關する政府の質問等に對し商議する充分の權利を附與せり。されば雇傭者に於ても満足して各自の義務を充分達成するに至れり。

十四、先決問題

終りに臨みて余は尙ほ二三述べんとす。先づ工業技師の獎勵に對して警告せん。元來技師は職工長と最も接近せるものなれば其努力並に啓發如何は將來の工業發展に對して大影響を及ぼすものなり。又團體的規約に關しても充分之を勵行し以て作業の能率を増進せしめざるべからず。

又吾人は此計畫に對して政府の援助あるを大に多とするものなれども不幸にして現在に於ては餘りに努力の形跡を認めず、剩へ「民衆尙ほ愚なり」との因襲的思想を脱却せず、斯の如くんば悲惨なる結果を來せる露西亞の二の舞を演ぜずんば幸なり。

尙ほ斯る工業的改善策に關しては雇主たるものは率先して其啓發運動に盡力せざるべからざるに彼等の多くが全く冷淡なるには呆然たらざるを得ざるなり。

十五、結 論

吾人の職工指導者たる職工長は現在の職工に對して僅に

二〇パーセントのみにして許容すべからざる少數なり、依て往々にして不自然なる事故を發生するに至る。又保主的なる雇主にありては徒に壓制及び威嚇手段に據りて之を管理し雇傭者との關係甚だ密接を缺くものあり。更に吾人の一般雇主に對して云はんと欲する所のものは彼等思想の散漫なることなり、右に就きては政府も方針未定なるが如きも吾人は飽く迄此計畫を主張し以て定期又は不定期に係らず永久的教育施設となさんとするものなり。今日工業に關する改造の説甚だ盛んなるが如きも吾人は之に先ちて利益に於けるのみならず自由に對する或犠牲を拂ふべき計畫を必要とするものなり。

元來眞のデモクラシーなるものは決して所謂工業的デモクラシーなるが如きものに非ず。假令ば生産者ならんには信用、機敏、發明、勤勉等の資格を具備し善良なる供給者たるの謂なり。工業的デモクラシーは或一派の政治運動混在せる者にして其間に驚くべき勢力を有し「所謂飼犬に手を咬まるる」例へに洩れざるものとす。斯る危険思想に對する唯一の防止策は所謂リコン道リコン道の鼓吹にあり即ち自己教育自己訓練以て自覺の啓發をなし公明正大且つ人道的に工業に貢獻するにあり。要するに吾人は工業界に於ける役員ならざる職工長に對し斯の如く自由に彼等を訓練啓發せんとするも畢竟彼等が生産物を造る間に多くの職工を感化指導せば其效果たるや又大なる者あらんと信ず。

◎大 冶 近 況

大冶鐵礦輸出事務は極て圓滿に進捗し本年度四、五、六、三ヶ月間の總輸出額は拾五萬參千七百噸にして之を月割とすれば四月參萬五千參百噸、五月六萬七千八百噸、六月五萬〇六百噸とす。大冶鋼鐵廠の工事は近來頗る相渉り來る十月頃には大體竣成すべき模様なり。漢陽鐵廠は時局の影響を受けて熔鑄爐の職工八百人同盟休業をなしたるも貸銀増給にて無事解決し損害も差したる額に上らざりき。象鼻山官鑛局の鐵道も前月落成し毎月貳百噸計りの鑛石を江岸貯鑛所に運搬しつゝあり同局工程部技師長は程貫如にして鑛山採掘技師長は右徳新なり。長沙丘州に於ける北軍の撤退を動機として武漢一帶の地を初め附近周圍の縣城は皆此潰兵の過ぐる慘禍を憂慮し人心競々謠言蜚語續出し一切の仕事手に着かず只管婦女の隱場所財産の安全個所を求めて奪掠強姦の悲惨より逸れんとし此一二週間に到る處人民喧囂を極め居れども流石に大冶鐵山のみは過去二十餘年の訓練に依り一絲亂れざるの狀況の下に鑛夫苦力に到るまで職務に精勵し居れり。